

3歳までの育児期間の不安解消のため、 小児科と連携したスマート・フォンアプリ「育児手帳」 子育て

博報堂DYメディアパートナーズ

医師や専門家が監修した育児関連情報を月齢に合わせて配信するスマート・フォンアプリ「育児手帳」を2014年から提供しています。事前に子どもの生年月日を登録しておくことで、子どもの成長のタイミングに合わせたコラム、育児Q&A、子育てのアドバイスを配信し、3歳までの育児期間の疑問や不安を軽減することを目指しています。ステークホルダーの一人である、国立研究開発法人国立成育研究センターこころの診療部田中恭子先生（前順天堂大学医学部小児科准教授）からも「子どものこころの発達に特に大切な生後3年間に、家族みんなで過ごした思い出やおすわりや伝い歩きなどなどの発達の過程を記録し、振り返ることができるということは、自らがどれほど愛されながら生まれ、育てられてきたかを実感し、その後のさまざまな体験への意欲（基本的信頼感から自律性の獲得）につながっていきます。その課程は、さらなる自我形成を促進し、健やかな心の成長を見据えた上でとても意義が高いと言えるでしょう」とのコメントをいただいています。



行政サービスを分かりやすく伝える 全国自治体の公式子育てガイドブック 子育て

大広

全国自治体の子育てに関する行政サービス情報発信プラットフォーム「子育てタウン」を運営する（株）アスコエパートナーズと共同し、自治体公式子育てガイドブックを2014年に制作しています。この冊子は、自治体との官民連携事業として、自治体の負担を軽減するため、子育て応援企業の協賛を募り発行しています。「子育てタウン」のウェブサイト版（PC・スマホ・アプリ）に加え、ウェブサイトと紙媒体を連動させ、市民目線の使いやすさを重視した冊子として、自治体で出産をするすべてのママに母子健康手帳と一緒に配布されています。大阪市・神戸市・千葉市・仙台市など、政令指定都市をはじめとした自治体で発行されており、今後も発行する自治体の数を増やす予定です。



働くママのネットワークを拡げ、ママの力を 日本の未来のシアワセにつなげる 両立支援

博報堂リーマプロジェクト

働くママ（サラリーマンママ＝リーマ）の力を社会に還元し、未来のシアワセにつなげていきたい。ひいては日本全体をも元気にしたいという想いのもと、博報堂の社内ママメンバーが始めた活動です。日本経済成長の鍵の一つに、女性の労働人口が増えることがあげられています。しかしながら、結婚、出産した女性の継続就業や再就職を阻む「ガラスの天井」が厚い日本社会では、労働人口のM字カーブは依然改善されないままです。本プロジェクトでは、ランチタイムを活用した業種を超えた働くママ同士の交流会「ランチケーション」を推進することで、働くママのネットワークを形成しています。2014年度には、拡大版として「ランチケーションイベント」を銀座にて開催。現在、約40社500名のネットワークを保有しています。

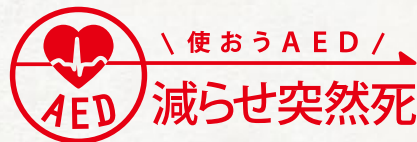


誰もがAEDを使える世の中に向けて

「減らせ突然死プロジェクト実行委員会」2年目スタート **健康**

大広

2004年から一般の人が扱うことができるようになったAED（自動体外式除細動器）。このAED導入10年目にあたる2014年、日本全国で心肺蘇生法の普及啓発をしている医師や団体など関係者が一つになって「減らせ突然死プロジェクト実行委員会」が発足しました。病院外での突然の心停止が目撃された場合、AEDが使われたケースはわずか3.6%*です。この事実を受け、AED使用率5%を目指し、できる限り多くの皆様に「心臓突然死を減らすことの重要性」「AEDを自らが使うことの意義」に気づいてもらうキャンペーンを展開。ウェブサイトやSNSをはじめとして、誰でも使用できるロゴマークをイベントで共有しながら活動を推進し、2015年にプロジェクト2年目を迎えています。



* 2013年 総務省消防庁 救急蘇生統計調べ

生活習慣病リスクを低減する
新しい生活習慣の創造へ **健康**

博報堂

心臓病や脳卒中、高血圧に代表される循環器疾患は、食事や生活環境などの生活習慣の改善によって、リスクが低減するとともに、国の大きな課題である医療費抑制にもつながります。健康寿命の延伸のために、循環器疾患を中心とした生活習慣病リスクを低減する新しい生活習慣の創造を目指し、「生活習慣病リスクを低減する生活に資する食事・食品」を対象とした「健康生活認証」事業を国立循環器病研究センターとともにスタートします。国立循環器病研究センター内の審査委員会の審査にもとづき認証マークの使用許諾を有償で付与します。



健康生活認証
国循基準

沖縄県健康長寿プロジェクト
「歩くーぽん」 **健康**

博報堂DYメディアパートナーズ

「歩くーぽん」は、歩数をポイント化して、商品と交換できるようにした万歩計アプリです。このアプリを使って「みんなで歩こうキャンペーン」を2014年度に沖縄県で実施しました。

沖縄ファミリーマートの協力のもと、アプリとFamiポート*を連携させて、店頭でコーヒーなどの商品と交換できるようにしました。また、琉球放送とともにテレビCMやウォーキング促進の特番、ドキュメンタリーも放送。その結果、同アプリは県民の30人に1人がダウンロードした計算となり、また記録した歩数は約39億歩となりました。

* Famiポートとは、ファミリーマート内にある各種お支払いなどのサービスが画面をタッチすることで受けられる「マルチメディア端末」です。

